

# 2018年度 第2四半期決算概要

2018年11月7日  
デンカ株式会社

## 1.業績の概要

### 【総括(前年同期比)】

- ・当第2四半期は、原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定や、電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したことなどにより、売上高は1,983億円と、前年同期に比べ105億円の増収(前年比5.6%)となり、第2四半期連結累計期間として過去最高となりました。収益面では、スチレンモノマーの定期修繕やヘルスケア分野などでの将来に向けた先行投資による費用負担増に加え、異常気象や自然災害等のマイナス要因があったものの、販売数量の増加や交易条件の改善が収益拡大に寄与し、営業利益は前年同期に比べ3億円増益の146億円(前年比2.0%)となりました。そして、経常利益は150億円(前年比3.1%減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は114億円(前年比7.2%減益)となりました。
- ・第3四半期以降も、自動車関連を中心に電子・先端製品の出荷好調が継続する見通しであること、インフルエンザワクチンに加え、検査試薬の販売伸長が見込まれることから、通期予想営業利益360億円を達成し、2期連続の最高益更新を目指します。

### 【セグメント別状況(前年同期比)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムは米国子会社が寒波の影響により減産となるなど販売数量は減少したものの、販売価格の改定が進み、また、ABS樹脂やデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂、MS樹脂の販売も好調に推移したことから、増益となりました。第3四半期以降も販売は堅調に推移しますが、通期の利益はコスト増の影響により前年を下回る見通しです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、農業・土木用途向けのコルゲート管や耐火物・鉄鋼用材料は販売数量が増加し増収となったものの、セメントや特殊混和材、肥料が低調だったことに加え、原燃料価格の上昇に対して値上げが遅れたことなどにより減益となりました。第3四半期以降は、セメントや特殊混和材などの価格是正を進めることで増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、電子回路基板、高信頼性放熱プレート“アルシク”および高純度導電性カーボンブラックの販売数量が増加し、電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムや、放熱材料向け球状アルミナの販売も好調に推移したことから、増産に伴い労務費等の固定費は増加しましたが、増益となりました。第3四半期以降も、自動車関連を中心に好調な出荷が続くことにより増益を見込みます。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、工業用テープの販売数量が増加し、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も堅調に推移しました。また、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売も概ね前年同期並となりましたが、耐候性フッ素系アロイフィルム“DXフィルム”の出荷が前年を下回ったことに加え、原燃料価格の上昇などもあり、減益となりました。第3四半期以降は、原燃料価格の上昇に応じた価格改定に努めることで増益を見込みます。
- ・ライフイノベーション部門は、デンカ生研株式会社のインフルエンザワクチンや試薬の販売数量が増加し増収となりましたが、研究費等の先行投資の負担増があり減益となりました。第3四半期以降は、インフルエンザワクチンや診断キットの収益寄与があることから、期初予想通りの利益となる見通しです。

### 【業績】

(単位:億円)

	2018年度 第2四半期実績 (4-9月)	2017年度 第2四半期実績 (4-9月)	増 減
売上高	1,983	1,878	105
営業利益	146	143	3
経常利益	150	155	△ 5
親会社株主に帰属する当期純利益	114	123	△ 9

	2018年度 通期予想 (4-3月)	2017年度 通期実績 (4-3月)
売上高	4,100	3,956
営業利益	360	337
経常利益	340	315
親会社株主に帰属する当期純利益	250	230

## 2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増 減
エラストマー・機能樹脂	売上高 890 営業利益 74	818 67	73 7
インフラ・ソーシャルソリューション	売上高 261 営業利益 △ 1	260 7	1 △ 9
電子・先端プロダクツ	売上高 329 営業利益 59	304 52	26 7
生活・環境プロダクツ	売上高 196 営業利益 2	204 8	△ 9 △ 5
ライフイノベーション	売上高 124 営業利益 5	120 6	4 △ 2
その他	売上高 183 営業利益 7	173 3	10 5
合計	売上高 1,983 営業利益 146	1,878 143	105 3

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
エラストマー・機能樹脂	1,800 150	1,701 154
インフラ・ソーシャルソリューション	550 5	531 2
電子・先端プロダクツ	685 125	626 109
生活・環境プロダクツ	400 10	410 8
ライフイノベーション	345 60	323 55
その他	320 10	364 8
合計	4,100 360	3,956 337

## 3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増 減
投 資	設備投資	143	99	44
	M & A 他	1	42	△ 41
	計	144	141	4
減価償却費		113	124	△ 11
研究開発費		78	68	10
有利子負債残高		1,215	1,210	5

2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
310	227
未定	43
310	270
235	246
150	139
1,080	1,083

	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績
為替レート [円/\$]	109.5	111.4
国産ナフサ [円/k]	50,550	37,800

2018年度 通期予想	2017年度 通期実績
109.8	111.3
52,275	42,200

## 4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	890	818	73	84	△ 11
インフラ・ソーシャルソリューション	261	260	1	8	△ 7
電子・先端プロダクツ	329	304	26	△ 0	26
生活・環境プロダクツ	196	204	△ 9	2	△ 11
ライフイノベーション	124	120	4	△ 3	8
そ の 他	183	173	10	-	10
合 計	1,983	1,878	105	90	15

## 5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	74	67	7	84	0	△ 77
インフラ・ソーシャルソリューション	△ 1	7	△ 9	8	△ 2	△ 15
電子・先端プロダクツ	59	52	7	△ 0	16	△ 9
生活・環境プロダクツ	2	8	△ 5	2	△ 3	△ 4
ライフイノベーション	5	6	△ 2	△ 3	6	△ 4
その他、消去差	7	3	5	-	3	2
合 計	146	143	3	90	20	△ 107